

校内職員研修会を振り返る

平成26年1月21日

学校評価検討委員会

1 目 的

組織的・体系的な生徒指導，学習指導，進路指導の取組を進めることができるよう，職員の共通理解と連携を深めるための研修を行う。

2 日 時

平成26年1月20日（月）午後3時50分から 50分程度



3 場 所

図書館

4 配付資料

ワークシート（個人），ワークシート（グループ）（当日配付）

学校評価アンケート集計結果（1月9日に配付）

5 内 容

今年度の学校評価アンケートの集計結果を資料に，話し合いを進める。

- ・研修の概要の説明
- ・大晦日，正月の過ごし方
- ・アンケート集計結果からわかること（記入，発表）
- ・集計結果を踏まえ，生徒の生活状況の課題，解決策（記入，グループ協議，発表）
- ・今日の研修についての振り返り
講評
アンケート記入

7 ワークシートのまとめ

(1) 大晦日、正月の過ごし方

<省略>

(2) 集計結果からわかること

<省略>

(3) 集計結果を踏まえて、生徒の生活状況の課題、解決策

<省略>

(2), (3)の結果は、自己評価に反映させる。

(4) 今日の研修についての感想

- ・ こういう機会を設けることの大切さはわかる。
- ・ 研修会に参加すると、必ず新しい情報、知見が得られるのでありがたい。
- ・ 進路実現のため、いま何をすべきかを見つめ直すべき。
- ・ アンケートの数値で話し合うのは意味がない。
- ・ 学校を担う教育の大切さを実感した。
- ・ さまざまな立場、考え方をもちよって解決すべく努力し、話し合うことは大切なことだと思う。難しいけど。
- ・ 多くの教員の捉え方がわかり、参考になった。
- ・ 改めて、生徒のことを考える時間になった。いろいろな職員の意見が聞けてよかった。
- ・ 短時間では、なかなか解決策はでてこないが、問題点が共有できてよかった。
- ・ 自分が親として回答する際には、実際のところどうなのかと、答えられない部分がかかなりある。だから、保護者の結果は、的をいたものとは思えない。
- ・ 話せばいろいろでてくるもので、こういう話を学年等でできれば、本当はいいのかもしれない。個人的には、管理職がアンケート結果をどう分析しているのかを、うかがってみたい。
- ・ 職員同士で、課題を示し合うことで、協力して学校をよくする雰囲気が出来上がっていくと思う。
- ・ 言い続ける。指導し続ける姿勢を貫いていきたい。
- ・ 話し合いをするばかりではなく、私たちが実践できるような場や機会があればと思う。生徒への指導は、やはり、職員全員で、同じ意思をもっておこなっていかねばならないと感じている。
- ・ アンケート自体があいまいなので、論点が絞りづらい。具体的な例を一つ特定して話し合った方が、短時間には効果的では。
- ・ 学年、教科を越えて、日頃あまり話す機会のない職員と会話できることが有意義であると感じる。3年前と比べ、学校評価の数値がよい方に上昇しているのを、グラフにより、はっきりと知ることができて、うれしく思った。
- ・ 自分には気づけなかった視点の話を聞くことができ、資料の見方、考察の仕方を学べた。実際に協議した内容についても、解決策の答えは、なかなかよいものがないと思った。
- ・ 情報を共有することが大切。知らないと言うことは怖いこと。開かれた学校づくりを。

- ・学校評価という視点から、物事を考えることが普段ないので、生徒指導や教科指導における新たな課題が少しみえた気がする。
- ・短時間でまとめるのは大変だと思う。ある程度フォーカスをしぼって、どのグループも共通する課題になるとよいと思う。
- ・「学校評価は教育活動の改善のためにおこなうもの。本校は着実によくなっている。」という教頭の言葉が印象委に残った。アンケートの結果から、生徒に細かく伝えていくことの難しさを感じた。我々教員は、たくさんの生徒の危険な事例をみているから、そう感じるのだろうか。親として、子どもの教育は気をつけていかねばと思う時間でもあった。
- ・なかなか忙しくて、集計結果をよくみていなかった。この機会に確認できてよかった。教育の大部分が美化に励み、わかりやすい授業を心がけ、進路に取り組み、一人一人の生徒を大事にしていると感じた。生徒の数字と隔たりがあるのが残念だ。今日のテーマでは、視覚に訴える方法もあるとことがわかった。
- ・いつものことだが、いろいろな職員と話せる機会となるのでありがたい。学校評価を見直す機会ともなった。集計結果から、よい授業と言いたくないだけで、生徒も授業を評価していると感じた。
- ・他の職員の考えも聞くことができ、考えることがあった。ここでのことを今後の指導に生かしたい。
- ・私は4ページの授業の工夫の欄が気になった。職員は工夫していると感じているが、生徒はそう感じていない。「おもしろい」と感じる力が、お笑いのように「おもしろ」くないと、おもしろいとおもえないのかな、と感じた。
- ・じっくりと集計結果をみることで、学校の現状と課題がみえてきた。前回、さっと目をとおり、考えたイメージが、言葉になり話し合うことで、課題がみえ、解決策を考えることによって、自分がすべきこと、すべきでないことが、少しわかった気がする。普段話すことのない他教科、他学年の職員と話ができて楽しかった。
- ・保護者が学校の教育活動に関心をもち、正しく評価していただければ、私たち職員も反省・振り返りができると思う。アンケートはもちろん大切だが、放課後、どれだけ生徒が活発に活動しているかが、学校の評価・成果になると考える。
- ・集計結果をもっとじっくりみてから研修会にのぞむべきだった。⑧のアンケートから、保護者のと生徒の意見が似ていることに驚いた。「もっと学校をみてもらわないと」という教頭の言葉が印象に残る。
- ・普段なかなか話せない職員と話ができてよかった。学校は確かによくなっていると思う。今回あがった課題を解決することは難しいと思うが、職員全体で協力していきたい。
- ・学校評価をどのようによみとっていくのが難しいと感じた。
- ・一つ一つのことをとらえて対処法を考える（具体策）ことも大切だと思うが、根本となることを明確に認識し、意識して行動すればよいのでは。
- ・いろいろな職員の話が聞けてよかった。もっと努力していかなければならないと感じた。
- ・集計結果から、職員、生徒、保護者のずれがあることがわかったが、課題を解決するためには、学校が努力していく必要性を感じた。
- ・学校の状態はよくなっているが、危険に対する注意の違いを再確認した。もっと生徒にわかりやすく、しつこく注意をし、保護者にも伝わるようにして、危険をふせぐしかないと思った。

- ・職員と生徒，保護者で，かなり感じたが違うが，これは問題を十分に生徒，保護者に伝えることができているからではないか。他の職員の意見が参考になった。
- ・現状を再認識するには有効であった。いろいろな職員の意見，思いを聞けてうれしい。保護者の認識がという問題がでたが，生徒を通じてという部分が必要と思う。
- ・保護者が生徒に頼っている面が多いことを再認識できた。日常で「なんでこんなことをしてしまうのかな」と啞然とする場面が多いのだが，「ことが起こるのでは」としっかり予測し，口ずっぱく指導していくことが大切であると思った。
- ・統合してから，学校の評価があがっていることがわかり，とてもよいことだと思った。保護者と生徒の意識や感覚が連動しているので，どうにか保護者の方へもフォローしていけたらよいのではないかと思う。毎回，こうしてシャッフルされたグループワークなので，他の職員の意見がとても参考になる。視野も広がるようなのでうれしい。
- ・どうせやるのならば，回数を減らし，もう少しつここんでみてはどうか。